

# 石油技術協会－海洋研究開発機構 共催シンポジウム開催のお知らせ

## 「地下圏微生物と石炭起源の炭化水素資源」

### －西太平洋沿岸海域におけるエネルギー資源と生成メカニズム－

近年、めざましく進展している地下生命圏の研究によって、海底下深部環境での微生物の果たす役割が次々と明らかになっています。とりわけ、炭化水素鉱床形成における微生物の活動や、石炭起源炭化水素と地下微生物圏の関係など、炭化水素資源に関わる微生物活動に現在注目が集まっています。今般、この地下圏微生物の重要性を取り上げ、協会と海洋研究開発機構の共催によるシンポジウムを下記の要領で開催致します。シンポジウムでは、最近明らかとなってきた西太平洋沿岸海域における知見を持ち寄り、炭化水素資源と微生物の関係について議論し、その全体像モデルを参加者全員で共有することを目的としております。学生や会員以外の方も含め、多く皆様のご参加を歓迎致します。

#### 記

日 時：平成 23 年 6 月 6 日 (月) 午後 1 時～5 時

場 所：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール (理学部 1 号館 2 階)

東京都文京区本郷 7-3-1 (次頁地図を参照)

共 催：石油技術協会、海洋研究開発機構

後 援：日本地球掘削科学コンソーシアム (J-DESC)

参加費：無料

プログラム

13:00-13:10 主催者挨拶 東 垣 (海洋研究開発機構)

13:10-13:30 西太平洋沿岸地域における白亜紀-第三紀の地質からみた炭化水素資源の可能性  
平 朝彦 (海洋研究開発機構)

13:30-13:50 道央～三陸沖および東海沖における炭化水素資源の起源：石炭熱分解起源と微生物起源  
早稲田周 (石油資源開発 技術研究所)

13:50-14:20 メタンハイドレート分布域および水溶性ガス田における地下微生物のメタン生成ポテンシャル  
吉岡秀佳・坂田 将 (産業技術総合研究所)

14:20-14:40 道央～三陸沖の古第三紀石炭の炭化水素地球化学的特徴 鈴木徳行 (北海道大学)

14:40-14:55 コメント：夕張 CO<sub>2</sub> 炭層固定化 (ECBM) プロジェクトの結果および赤平 CBM での深部ガス寄与の可能性について

鈴木祐一郎 (産業技術総合研究所), 藤岡昌司 (石炭エネルギーセンター)

小牧博信 (地球環境産業技術研究機構), 大賀光太郎 (北海道大学)

14:55-15:15 三陸沖海底下の地質構造 大澤正博 (JX 日鉱日石開発)

15:15-15:30 コメント：道央～三陸沖の古第三系シーケンス層序と夾炭層分布  
高野 修 (石油資源開発 技術研究所)

15:30-16:00 海底下の炭化水素システムと生命活動－「ちきゅう」による下北八戸沖石炭層生命圏掘削調査の目指すところ－  
稲垣史生 (海洋研究開発機構 高知コア研究所)

16:00-16:10 休憩

16:10-17:00 総合討論

パネリスト：松岡俊文 (司会：京都大学), 松本 良 (東京大学), 稲垣史生 (海洋研究開発機構)

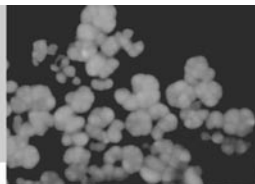
大澤正博 (JX 日鉱日石開発), 高野 修 (石油資源開発)

17:00 閉会の辞

コンビナー：高野 修 (石油資源開発), 山田泰広 (京都大学), 森田澄人 (産業技術総合研究所),  
東 垣 (海洋研究開発機構)

問い合わせ先：産業技術総合研究所 森田澄人

Tel: 029-861-2490 Email: morita-s@aist.go.jp



# 地下圏微生物と 石炭起源の炭化水素資源

— 西太平洋沿岸海域におけるエネルギー資源と生成メカニズム —

平成23年6月6日(月) 午後1時～5時

東京大学本郷キャンパス小柴ホール

共催：石油技術協会、独立行政法人海洋研究開発機構

後援：日本地球掘削科学コンソーシアム (J-DESC)

コンビナー：高野修(石油資源開発)、山田泰広(京都大学)、

森田澄人(産業技術総合研究所)、

東 垣(海洋研究開発機構)

<p>地球深部探査船「ちきゅう」 Site: C3001 下北半島沖約 80 km 水深 1200m 自噴防止システム (BOP)</p> <p>空層充填型 メタンハイドレート</p> <p>CH<sub>4</sub> 650 m</p> <p>H<sub>2</sub> CH<sub>4</sub></p> <p>CH<sub>4</sub> 2090 m</p> <p>超臨界二酸化炭素 sc CO<sub>2</sub> 超臨界溶媒射エリヤ sc CO<sub>2</sub></p> <p>CH<sub>4</sub> H<sub>2</sub> sc CO<sub>2</sub></p> <p>3500 m</p>	<p>西太平洋沿岸地域における白亜紀-第三紀の 地質からみた炭化水素資源の可能性 平 朝彦(海洋研究開発機構)</p>	
	<p>道央～三陸沖および東海沖の炭化水素資源の起源： 石炭熱分解起源と微生物起源 早稲田 周(石油資源開発 技術研究所)</p>	
	<p>メタンハイドレート分布域および水溶性ガス田における 地下微生物のメタン生成ポテンシャル 吉岡 秀佳・坂田 将(産業技術総合研究所)</p>	
	<p>道央～三陸沖の古第三紀石炭の炭化水素地球化学的特徴 鈴木 徳行(北海道大学)</p>	
	<p>コメント：夕張CO<sub>2</sub>炭層固定化 (ECBM) プロジェクトの結果 および赤平CBMでの深部ガス寄与の可能性について 鈴木 祐一郎(産業技術総合研究所)・藤岡昌司(石炭エネルギーセンター)・ 小牧博信(地球環境産業技術研究機構)・大賀光太郎(北海道大学)</p>	
	<p>三陸沖海底下の地質構造 大澤 正博(JX日鉱日石開発)</p>	
	<p>コメント：道央～三陸沖の古第三系シーケンス層序と夾炭層分布 高野 修(石油資源開発 技術研究所)</p>	
	<p>海底下の炭化水素システムと生命活動 —「ちきゅう」による下北八戸沖石炭層生命圏掘削調査の目指すところ— 稲垣 史生(海洋研究開発機構 高知コア研究所)</p>	
	<p>総合討論 司会：松岡 俊文(京都大学) パネリスト：高野 修、稲垣 史生、大澤 正博、松本良(東京大学)</p>	

会 場：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール(理学部1号館2階)

所在地：東京都文京区本郷7-3-1

## 交通案内

- 東京メトロ千代田線「根津」駅下車徒歩11分
- 東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅から徒歩15分
- 東京メトロ南北線「東大前」駅から徒歩11分

